つるせ 公民館だより

第４３６号

鶴瀬公民館マスコットキャラクター『つるちゃん』

２０１６．２．１
２ 月 号
編集　つるせ公民館だより編集委員会
発行　鶴瀬公民館　富士見市羽沢3-23-10
Tel 049-251-1140 Fax 049-251-1156
fkm-tu@gaea.ocn.ne.jp

山室地蔵堂

四年前に鶴瀬駅から市役所方面へ一直線に伸びる東通線が開通し、人と車の流れは、大きく変わりました。かつては、羽沢の交差点からゆるやかに曲がり下っていく堂坂と呼ばれる道が、市役所へ向かう主な道路でした。

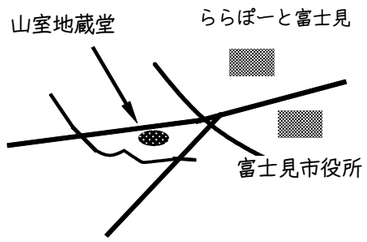
坂の名前の由来となったのが、切通しの崖の上に建つ山室地蔵堂です。

ここには享保五年（一七二〇）に造られたお地蔵様、また六地蔵（平成二〇年造）が立っています。お地蔵様に並んで、寛文四年（一六六四）に造られた入間東部地区最古の庚申文字塔（板碑形式墓碑）もあり、三五〇年ほど前からこの地で人々の暮らしが確かに営まれ、今も信仰が続いていることを示す石仏、文化財があるのです。

そして坂の下に目を向ければ最新の大型商業施設。他市町村からも訪れる買い物客でにぎわっていますが、お地蔵様はこれからも、ただじっと時の移ろいを見つめているようです。

（本多）

わがまち点描 67



公民館の利用受付

★会場予約は先着順ではありません。
★団体登録カードをお持ちください。
＊各部屋　午前9時から
　平成28年4月利用分 → 2月5日(金)
＊ホール　午前10時から
　平成28年8月利用分 → 2月5日(金)
★ 目的外利用者・市外利用者は翌日から受付です。
★ 第３月曜日は全公民館休館です。部屋の利用・予約・申請・印刷などはできません。
2月15日は休館日です。

パソコン相談室

参加費・申し込み不要です。どなたでもどうぞ!
インターネットもできます。
★毎週水曜日　午前10時~12時
場　所　いきいき活動室
指　導　公民館ＰＣｻﾎﾟｰﾄｸﾗﾌﾞ
2月3,10,17, 24日

鶴瀬学級文化祭

●展示発表　2月17日(水)・18日（木）　午前10時~午後5時
　(18日は3時まで)
　第１集会室…切り絵、ペン習字、毛筆、水墨画
　鶴瀬コミセンホールロビー…ウォーキング、料理
●舞台発表　2月18日(木)　午前10時~午後3時
　鶴瀬コミセンホール…カラオケ、民謡、コーラス、軽体操、社交ダンス、新舞踊、詩吟

子育てサロン

０歳から就園前の乳幼児とその保護者が対象です。

★親子はーとふるＴｉｍｅ（申込み不要）
＊親子で一緒に遊びます。手遊び、紙芝居もします。サポーターママが待っています。0歳児のママもお気軽に。
と　き　２月５・１２日(金) 午前10時30分~12時
ところ　いきいき活動室

★おかあさんのほっとＴｉｍｅ
（保育付定員８人　申込み必要）
お子さんをあずけて、ゆっくりとお母さん同士で子育てのいろんなことをおしゃべりしましょう。
はじめての方も安心してご参加ください。
と　き　２月１９日(金) 午前10時30分~12時
場　所　和　室
申込み　２月３日（水）より平日９時~１７時(電話可)

★げんきっこＴｉｍｅ（申込み不要）
１才半くらいからのお子さんが対象です。
集団遊びや工作など親子で一緒に遊びます。
指　導　小林　礼子　さん
と　き　２月１０日（水）午前10時30分~11時30分

★おかあさんのステップアップ講座　保育付き
「デコレーション寿司を作ろう！」
と　き　２月２６日（金）午前10時~12時　ところ　調理室
定　員　１２名（保育定員も同じ）材料費　500円
持ち物　エプロン、三角巾、ふきん3枚
＊申込みは２月10日（水）から電話または窓口で

市民生活講座　初めてのヨガ
冬の運動不足解消に、心も体もリフレッシュ！
と　き　２月２４日（水）午前10時~11時30分
ところ　和室　　定　員　10名
講　師　豊永　めぐみ　さん
持ち物　大き目のバスタオル、タオル、動きやすい服装で
＊申込みは2月1日（月）~窓口または電話で
参加費無料　保育付き

高齢者サロン

場　所　いきいき活動室
と　き　午後１時３０分~
お体に不安のある方、お友達のほしい方
お気軽にお出かけください。

★ひだまりほっとたいむ　申込不要
2月4日、18日（木）お茶代月100円

★ホッと安心健康相談　2月18日(木)
血圧測定や保健師の相談コーナーがあります。
問合せ　健康増進センター（０４９ー２５２ー３７７１）

★いきいきたいむ
♪うた声サロン　毎週火曜日
懐かしい歌で楽しくリハビリもできます。
♪おしゃべりサロン（無料）毎週水曜日

あの時を忘れず、ともに復興へ！

ー第38期富士見市民大学公開講演会ー　参加費無料
と　き　2月6日（土）午後1時30分~4時
ところ　鶴瀬コミュニティセンターホール
講　師　小野 弘行 氏（東松島市行政専門員）
＊同時開催　コーラス「歌音」合唱
東松島市特産品販売
主　催　NPO富士見市民大学・富士見市教育委員会

第18回　バレンタインコンサート

と　き　**2月14日(日)午後1時開演**(12時30分開場)
ところ　鶴瀬コミュニティセンターホール
出　演　ゆいの里・どんどこ・ふじみ青年学級
中村　友美（シンガーソングライター）
主　催　バレンタインコンサート実行委員会
(ゆいの里・どんどこ・鶴瀬公民館)
後　援　富士見市社会福祉協議会
入場無料

第30回　地域・自治シンポジウム

「学びあいで暮らしやすい地域づくりを」
と　き　2月28日（日）午後1時~4時
ところ　鶴瀬コミュニティセンターホール
講演　「地域で遊ぶ、地域で育つ子どもたちを考える」
深作 拓郎 氏（弘前大学生涯学習教育研究センター講師）
シンポジウム「子どもの遊び、豊かな地域へ」
交流イベント　スペシャルゲストと共に
＊手話通訳、保育あります。

編集委員雑感

節分といえば鬼がつきものだが、元来、鬼には征服する側から見た「まつろわぬ民」（逆らう勢力）「荒ぶる民」の意味があるそうだ。「鬼」「土蜘蛛」などと蔑視され敗者とされて、その歴史は伝わって来ない。

そのような中で埼玉県嵐山町にある鬼鎮（キチン、キジン）神社は、鬼を祀り地元ではキチン様と呼ばれ親しまれている。

鎌倉時代、領主の畠山重忠が菅谷館の鬼門の方角に、厄除けのため置いたと伝えられている。

小ぶりの社には、ユーモラスな「赤鬼、青鬼」の絵馬が掛けられ、大小の金棒が奉納されている。

節分には「福は内、鬼は内、悪魔外」と掛け声をして、桃太郎の話は厳禁だそうだ。

時代は変わり、ＣＭではおなじみの３太郎が鬼ちゃんと仲良くしてる。鬼のイメージも変わっていくのだろうか？

（園原）

２月のわんぱく広場　（小学生の手芸と料理）

27日(土）午前9時30分~　内容はお問い合わせください

第35回ファミリーコンサート

と　き　2月11日（木・祝）午後2時開演
場　所　鶴瀬コミュニティセンター
出　演　ＴーＷＡＶＥ合唱団
世界＆日本のうた　他
参加券　一般1,000円高校生以下500円
(鶴瀬公民館で9時~5時取り扱っています)
主　催　富士見市音楽連盟

富士見市で自慢できるものは？

「わが町で自慢できるものは何ですか」
上記の質問を市内在住の方々にぶつけてみたところ、「さぁ～て……」「何かあるかしら」「ららぽ～とはダメ？」「そんなもの無い！」など惨憺たる結果でした。そこで、わが編集委員会が総力をあげて探し求めた「これぞ！」と思われるものをご紹介します。皆さんの富士見自慢はなんでしょうか？

―国指定史跡― 水子貝塚公園

水子貝塚公園には、「縄文の森」に囲まれた一周五八二メートルの遊歩道があります。

夏には、日陰をつくり、冬には、日差しが暖かく差し込み、春には、一斉に緑の息吹が見られ、秋には、紅葉が人々の目を楽しませてくれます。

遊歩道の傍らにはベンチがあり、リハビリを兼ねた人たちが多く利用しています。中央部は芝生が全面に敷きつめられていて、復元された竪穴式住居と貝塚のあった場所を示す表示もあります。そこは幼児と母親たちへ、のんびりした憩いの場を提供する場所でもあります。

季節ごとの催事もあり、高齢者の語り合いや囲碁、将棋を楽しむ姿も見られるなど、一年四季をとおして楽しめるオゾン一杯の公園です。

キラリ☆ふじみ

キラリ☆ふじみは、ダンスやピアノの発表会、小中学校の音楽会、作品展示、弁論大会、吹奏楽の演奏会、観劇、成人式、地産地消とサーカスバザールなど、平成十四年に開館して以来、地域に寄り添い「富士見市民の文化・芸術を発信する中心施設」として市民に愛されています。

初代芸術監督に平田オリザ氏を迎え、劇場のオリジナル作品を創造・発信し、地域文化に関する力の向上をめざして来られました。

その目標は、生田萬氏、多田淳之介氏の歴代監督へと受け継がれ、高い水準で維持し続けられています。

芸術監督制、市民参加、ワークショップなどの取り組みが認められ、平成十九年度には「地域創造大賞（総理大臣賞）ＪＡＦＲＡアワード」を県内で初受賞しました。

県内外からも高い評価を得ているキラリ☆ふじみ、今後の活動にも注目ですね。

蕪（カブ）

市内に広がるカブ畑、特に珍しいこともなく、全国どこでも見られる風景と思っておりました。

ところが何と、富士見市がある入間地区はカブの収穫量全国二位だったのです。

「火山灰土質の畑では、純白でキメが細かく、甘いカブが育つ」（市役所ＨＰ）とのこと。確かにカブは、糠漬けはもちろん定番ですが、浅漬けは特に口当たりがなめらかで、ほんのり甘味もあり、おいしい。新鮮なカブは、薄切りにしてフレンチドレッシングのサラダも美味。葉も緑黄色野菜として栄養価があり、さっと茹でて青味に使えます。

カブは、これから春先まで甘味も増し、一段とおいしくなります。

富士見自慢のカブを、皆様もどうぞお召し上がりください。

水子貝塚資料館市民学芸員

考古館友の会（市立考古館時代の事業参加者が立ち上げ事業協力などを行っている）の提案は平成八年頃、たぶん全国でも初めての、市民からの発信だったそうです。市民協働の考え方で、ボランティアとして施設をサポートする活動を行いたいというものです。

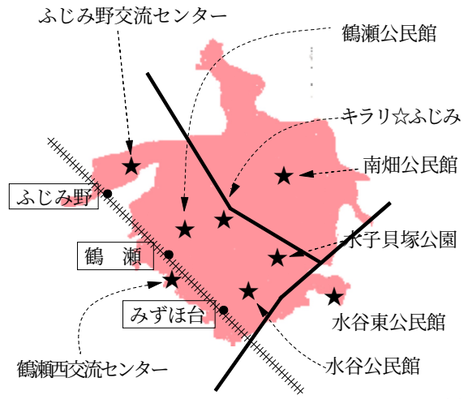
提案を受け、平成十一年十月からは市民学芸員養成講座が開講し、平成十二年六月一日から活動が始りました。そして現在は、六十余名が自身の学習を兼ね、園内のガイドや様々な行事の協力をして、市民と資料館との仲立ちをしています。

水子貝塚資料館においては、「貝の環」（かいのわ）という市民学芸員活動記録を三冊発行し「市民学芸員だより」は一〇〇号を迎えて、ますます活発に活動しています。

四、五月には歴史学習を始めたばかりの小学生が、縄文時代の史跡を見学に訪れます。また、市内外の小学校の遠足を兼ねた社会見学も多く、対応が忙しくなるそうです。

土日祝日は、控え室に市民学芸員が常駐しているので、声をかけてみましょう。歴史や民俗、植生など、得意分野が個人によって異なるので、違う話が聞けて、何度行っても面白いと思います。

＊難波田城資料館でも同様に市民学芸員が活動しています。



「富士見がふるさと」

作詞　いで　はく
作曲　遠藤　実
編曲　佐々　永治

『富士見がふるさと』は、平成十四年の富士見市制三十周年を記念して制作されたもので、富士見の自然や文化を歌詞にし、郷土の素晴らしさを感じながら踊れる曲です。

健康維持のため参加している「パワーアップ体操地域クラブ」で、体操の後みんなで輪になり踊っていた「～薫る薫る　そうだそうだね　富士見　富士見がふるさとよ～」という曲が『富士見がふるさと』で、その作詞・作曲者を知って驚きました。あの「北国の春」を生んだ名コンビの作品なのですから。

新しいことを習うのは認知予防とばかり、言われるまま、身振り、手振り、ギクシャクと手足を動かしていたのだけれど、音楽としても楽しんでみようかな。

「公民館だより」

「市民の手で作る公民館だより」をモットーに、本紙「つるせ公民館だより」は、昭和五十一年（１９７６年）の創刊から今年で満四十年を迎えます。

また、本号で通巻４３６号となりますが、第5号以降今日に至るまで、全て市民と公民館職員の協働で作られてきました。日本国内に広報紙を発行する公民館は約一万五千館ありますが、このような住民参加型の広報紙はきわめて珍しく、全国的に誇れるものです。

＊南畑公民館、水谷公民館、水谷東公民館、鶴瀬西交流センターの広報紙も同じ方法で作られています。

公民館だよりを読んでの、ご感想やご意見をお寄せください。電話・ＦＡＸ・窓口・電子メールでも受け付けます。